

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスりーる		
○保護者評価実施期間	2026年2月23日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが自己選択できるよう活動内容を幅広く設定するとともに、自分で選んだ活動を最後までやり遂げられるよう支援していること。	本社と連携し、プール活動やICT機器を活用した学習など、指導訓練室外での活動も取り入れている。また、自立に向けた生活支援からタイピング学習まで、一人ひとりの発達や興味に応じた活動を選択できるよう工夫している。	子どもや保護者の思いやニーズを丁寧に聞き取り、一人ひとりの興味・関心や生活スキル、社会性の向上につながる支援内容の充実を図っていく。
2	清掃や換気など、お子様が安心して過ごせる環境づくりをしっかりと行っていること。	室内の壁紙の張替えや模様替えを実施し、子どもにわかりやすく構造化された環境をさらに整えた。毎日の清掃に加え、気づいたところを都度掃除し、こまめな消毒を行っている。	お子様に対しても衛生面の意識向上を促すための活動や遊びを取り入れ、自己管理の力を育てる。
3	職員同士の連携をこまめに取り、様々な大人の視点で子どもの姿をとらえている。また、社内研修や自治体の研修会に参加し、職員一人ひとりの資質向上に努めていること。	支援開始前や終了後の職員間の打合せや振り返りを頻繁に行い、「子どもや家族の希望や課題に基づいた支援内容になっているか」を確認している。	職員それぞれが研修や資格取得等の自己研鑽目標を設定し、個々の資質向上意欲を高める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広々とした活動スペースが足りていないこと。	継続して通っている子が多く、お子様の体が大きくなってきている。	曜日ごとのスケジュールを綿密に計画するとともに、本社の学習室やプールなどを使ったりして1つの場所にいる人数が多くなるようにする。
2	保護者様と直接顔を合わす機会が少ないこと。	保護者様と顔を合わせる機会として送迎があるが、お子様は早く家に入りたいという気持ちが強かったり、車内に他のお子様を待たせたりと短時間での申し送りになっている。	保護者様やきょうだいが参加できるイベントを開催する。また、帰りはできるだけ事業所にお迎えに来ていただくようにし、事業所でのお子様の様子を見ていただきながら情報共有ができるようにする。
3	家族支援プログラムや保護者会への参加人数が少ないこと。	HUGアプリのみのお知らせになることがあり、ご家庭への周知できていない。	HUGアプリだけでなく、面談や送迎時など直接お会いしたときにも声をかけるようにする。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026（令和8）年5月29日

事業所名：放課後等デイサービス リー

対象人数（保護者）22人 回答者数 12人 回収 54.5%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11		1		指導訓練室だけでなく、庭や本社にあるプール、ICT機器を使う学習室でも活動しています。また、2月から個別活動を見直し、活動を分散して一人ひとりの活動スペースが広がるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	1		多様な活動に目が届く支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
適切な支援の提供	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			2	怪我防止のため、角にはクッションカバーをつけています。室内家具の設置場所を変更し、より移動がしやすいようにしました。サポートが必要なお子様には、職員がついて補助をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1	毎日の清掃、消毒を徹底して行っています。室内の壁紙を新しく張り替え、明るく空間にしています。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1	保護者様とHUGや電話等で情報共有をしています。職員の専門性を高めるため、法人内だけでなく社外とも連携した研修を実施しています。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				支援プログラムに基づいて活動を行っています。支援プログラムを改定し、ホームページにて公表しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	12				子どもたち一人ひとりに応じた計画書を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				お子様の支援に必要な項目を適切に設定し、支援を行うように心がけています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1	子どもたちの「できた」を自信に繋げていけるように計画書に基づいた支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				個別活動として、子どもたちが自分で選択をしています。最後までやり遂げることができるよう、サポートをしています。
保護者への説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		3	高齢者向け福祉施設との交流や、他事業所との交流、学童さんなど幅広く交流してくれています。学童クラブVI-VAと一緒に運動会で交流を行いました。寿デイサービスと一緒に音楽演奏会を鑑賞しました。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				契約時にお伝えしています。ご不明なことがあれば、いつでもご連絡ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画書を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合には、ご連絡ください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		2	9月に作業療法士による「あそびと日常生活」の学習会を開催しました。今後も、テーマを変えながら研修会を実施します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				小さな事でも、すぐ連絡してきてくれて家庭でも確認したり、対策をすることが出来ています。また、こちらからの困り感を相談すると、すぐに支援策を提案してくれて実施してくれます。ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1			面談や支援会議、電話等で保護者様と子育てについてお話しています。少しでも気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				お子様一人ひとりを大切に支援を心がけていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			2	9月「保護者会」を開催しました。9月「親子バーベキュー」、10月「ハイキング」、2月「運動会」を開催し、多くの保護者様やきょうだい様にご参加いただきました。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				迅速に対応するようにしています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				I C Tをフルに活用して頂き、子供の目に触れることなく情報共有ができる面で安心して相談できます。
非常時等の対応	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	ホームページやリーダより、Instagramも活用しながら、情報を発信しています。自己評価の結果は、ホームページに掲載しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1	十分に配慮しています。個人情報については、鍵付きの書庫にて保管しています。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2	各マニュアルを策定し、警察の方にご協力・ご指導いただき不審者対応訓練を全職員で行いました。救急救命訓練は、プール活動中を想定した研修を行いました。保護者様には、「災害・緊急時の対応」を配布しています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			4	お子様の避難訓練等も活動の一環として取り入れています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		3	お子様の安全を第一に考え、支援しています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				速やかな連絡を心がけています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11			1	アットホームな雰囲気のある事業所が、おばあへの家に遊びに来た感覚でリラックス出来るようです。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1		一人ひとりの思いに寄り添いながら、色々な事に挑戦し、困った事を伝え安心して過ごしてもらえよう、サポートしています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	11	1			個々の特性に合わせた活動を行っていただいている。親も安心して託す事が出来ています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をやるかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスりーる			公表日	2026(令和8)年5月29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・療育活動中は、常に職員同士で声をかけあっている。 ・活動を分散させているので、配置数に問題はない。	・プログラムによって、職員が足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・活動スペースをきちんと決めている。 ・段差はあるが、不便はない。 ・3段の階段はあるが、現在は車椅子利用の子はいない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日の室内清掃と利用した玩具の消毒をしている。 ・日々細かく掃除や除菌をする。危険な箇所を把握し改善に努めている。 ・子どもへの情報量を少なくするために、活動スペースの壁をスッキリさせている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・リラックスルームがある。 ・クールダウンできるような部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・個別活動について、子どもと一緒に計画を立て、子どもと職員とふりかえり、見直しをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・評価を受け改善方法を考えたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・お迎え時に事業所の様子だけでなく、家での様子・家庭での困り感などを共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・作成した個別支援計画は、全職員が目を通すようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・ミーティングで話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・怪我がないように安全に配慮したプログラムを考えている。 ・個別活動は、子どもの様子を見ながら最終決定をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・子どもが一人で遊ぶことがないように目配りをしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・活動前にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・記録を入力しながら振り返りをしている。 ・日報も活用して、振り返りをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・個別活動に組み合わせ取り組んでいる。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・子どもたちが活動を選択している。 ・子どもと相談を重ねている。様子を把握し、選択肢を増やしたい。		
その他	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0	・担任と保護者と連絡を取っている。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・合同運動会を開催し、学童クラブVI-VAと交流した。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		・保護者会やイベントを通して、職員や家族との関わりを増やしたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	・親子ハイキング、親子バーベキューを開催した。	・保護者会やイベントを通して、継続して交流の場をつくりたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・りーる便りやイベント用パンフレット等で行事内容を伝えている。 ・見えていない家庭へは事業所から電話連絡をしている。	・SNSでの発信が少ない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		・職員の誰もがいつでも確認できるように掲示しても良い。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		・職員の誰もがいつでも確認できるように掲示しても良い。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・毎月のヒヤリハットの確認と適宜、研修をしている。 ・リズムと一緒にヒヤリハットミーティングを毎月必ず行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			